

日射病 熱射病に 注意

外で強い日ざしにさらされて起こるのが日射病、蒸し暑い所に長時間いて起こるのが熱射病。総称して熱中症といいます。

予防のポイント♪

炎天下であそばない

日ざしが強いは、午前10時ごろ～午後2時ごろ。この時間帯の外あそびは30分ほどで切り上げて。

ベビーカーは短時間で

ベビーカーは、アスファルトの照り返して熱がこもりまます。長時間の移動は避けましょう。

外と家との温度差に注意

涼しい室内から急に気温の高い外に出ると、体力が奪われて危険です。

子どもを一人にしない

子どもを車や部屋に一人で残さないで。クーラーをつけていても危険です。

つばの広い帽子をかぶる

頭だけでなく、後頭部や首も、日光から守りましょう。

こまめな水分補給

少量の水分を30分を目安に、こまめに飲ませます。



夏真っ盛りの今月。毎日プール遊びを満喫している子どもたちです。この夏、夏休みの計画を立てているご家庭も多いかと思いますが。コロナウイルス感染症対策を講じながら楽しい夏の思い出ができるといいですね。このところ熱中症による子どもさんの悲しいニュースが聞かれます。少しの間でも車内に子どもさんを一人にしないよう注意したいですね。

歯科検診が終わりました。

7月13日(火) 当園ホールにて歯の生え始めたたまご組さんから大人の歯に生え変わり始めたあおくみさんが歯科検診を行いました。マキ歯科クリニック上野牧子先生が来園。初めての歯科検診にドキドキの子も、怖くて泣いてしまった子も、みんな上手に口を大きく開けて立派に検診ができました。「おうちでの仕上げ磨きがしっかり行われていますね。」とおほめの言葉を頂きました。歯科検診の結果は、個別で配布しました。検診の結果診察が必要とされた子以外でも定期的な診察をお勧めします。歯科受診が終わりましたら園に用紙を提出をお願いします。



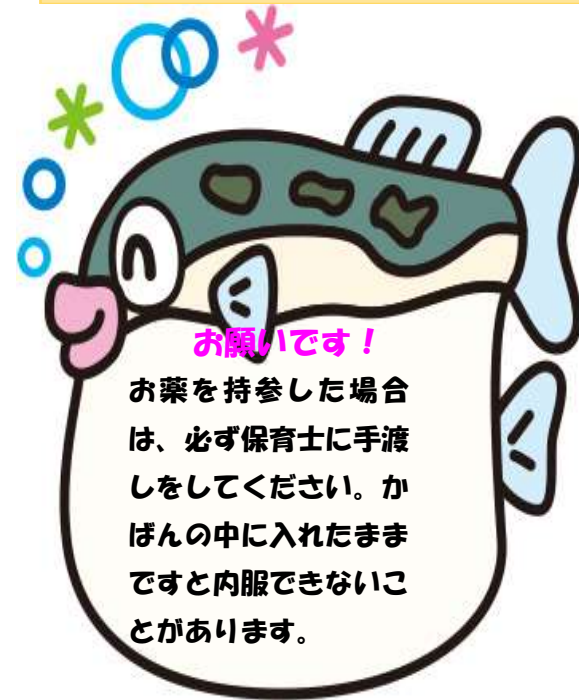
仕上げ磨きを嫌がります。どうしたらいいい...

口の中に歯ブラシを入れることは、子どもにとって怖いイメージがあります。それは、歯ブラシを異物と認識するからです。おうちの方と一緒に歯みがきをすることから初めてみましょう。また、教育DVDなどの力を借りて恐怖心を取り除いてあげましょう。虫歯を予防したいあまり無理やり押さえつけるのではなく、楽しいことだよと興味を持たせることが大切です。歯みがきを楽しくするアイテムをうまく使いながら予防できるといいですね。



8月の 乳幼児健康診査

- 2日(月) 乳幼児健康診査
 - 20日(金) ことばの相談
 - 25日(水) 赤ちゃん相談
 - 30日(月) 3歳6カ月児健診
- 詳しくは広報しずくいで確認のうえお出かけください。



「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に運んで寝かせ、服のボタンやベルトを外す。



体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- 冷やしたタオル
 - タオルに包んだ保冷剤
 - 冷えた缶ジュース
- などを挟んで冷やすと効果的



注意!!

39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます